

## 4.7.2 メッシュ濃度分布の再現結果

### (1) 二酸化窒素濃度分布

現況年度における二酸化窒素濃度分布を図 4-6 に示す。なお、二酸化窒素濃度の計算値については、再現性があるものの若干の誤差があるため、測定局における測定値と計算値の平均値の比により、メッシュ計算値を補正した。

また、発生源別の寄与濃度分布を図 4-7～図 4-10 に示す。発生源別の寄与濃度は、定常近似モデルによる二酸化窒素濃度を指数近似モデルの発生源別寄与濃度で按分して分布を求めた。このため、打ち切り誤差により太平洋上の低濃度域で、不自然な分布が見られる。

千葉県において、二酸化窒素の濃度が高くなる地域は、東京湾沿岸地域と幹線道路に沿った地域となった。

発生源別には、工場・事業場では、袖ヶ浦市、富津市の沿岸部での比較的濃度が高い。自動車は局地的に濃度が高くなる傾向が見られ、主要な幹線道路である国道 16 号線、首都高湾岸線～東関東自動車道、京葉道路沿線などで濃度が高くなる傾向が見られた。このほかの発生源は、事業所や人口の多い地域で比較的濃度が高かった。

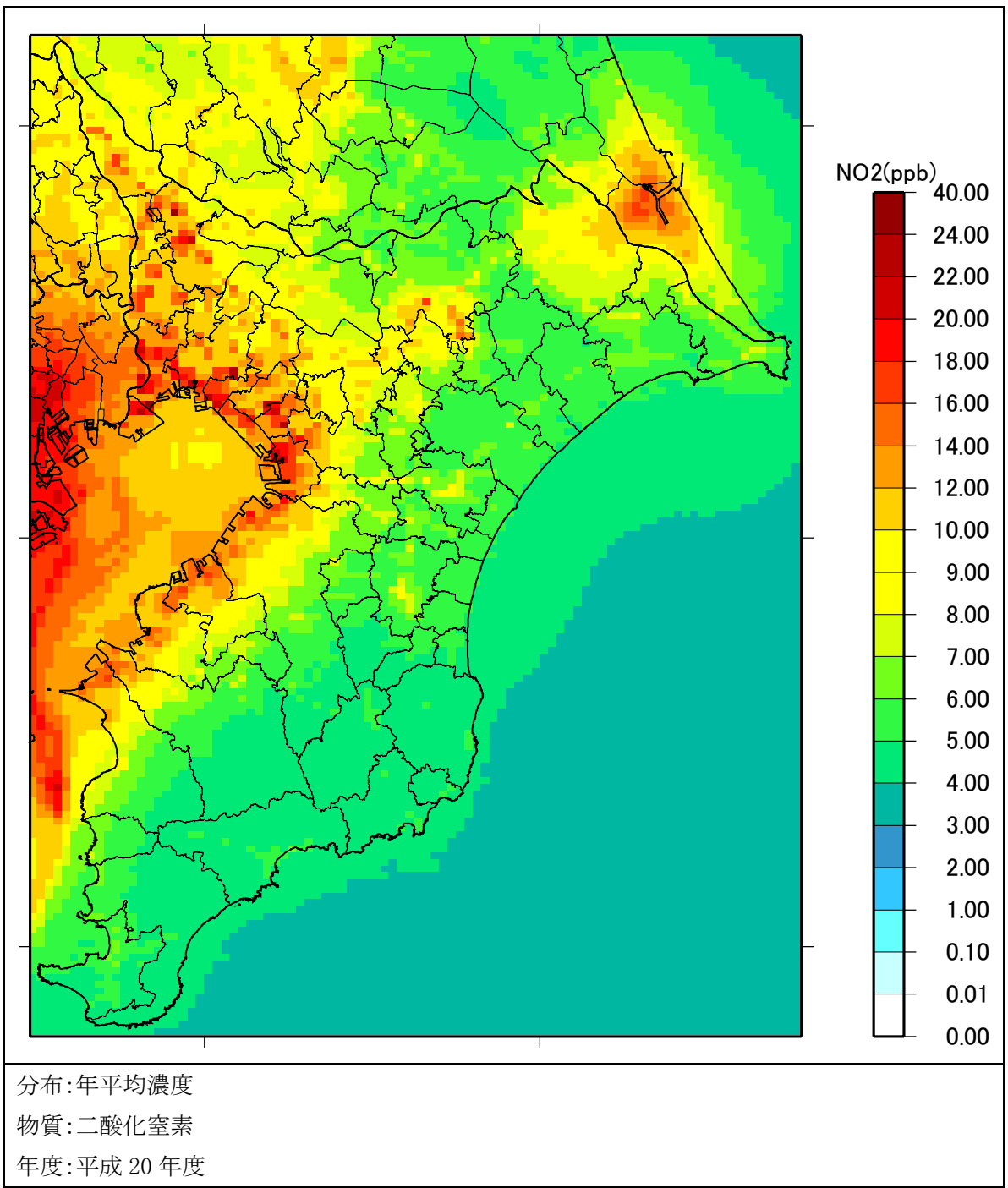


図 4-6 二酸化窒素濃度分布(年平均値、平成 20 年度)

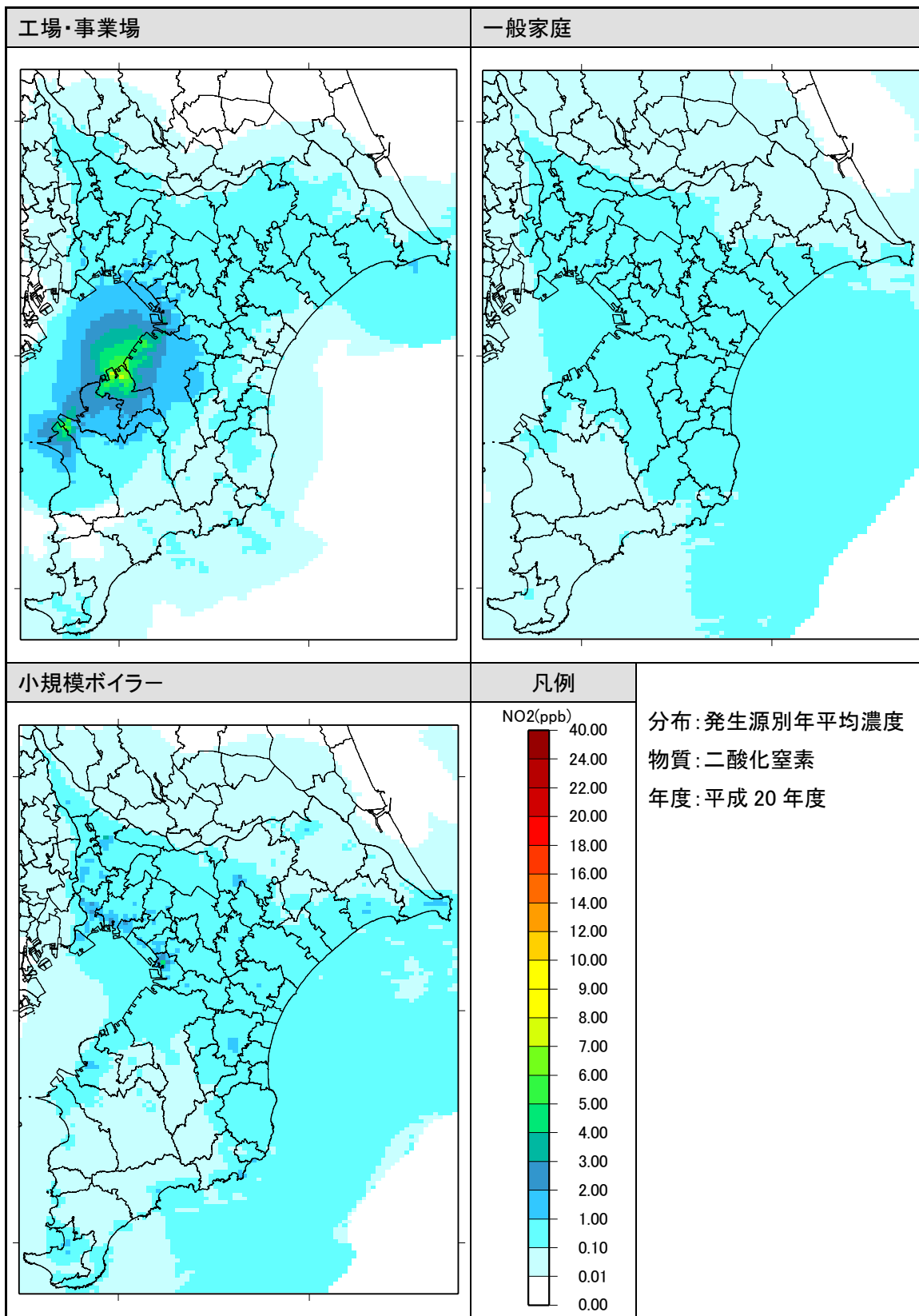


図 4-7 二酸化窒素濃度分布(年平均値、平成 20 年度)